

世界の紛争地で水と衛生支援

REALS

(前号より続く)

■過去の紛争地における水と衛生支援

たが、その設置場所をめぐって住民が争い出し、通水後にさらに深刻化した。

「水源近くに設置した一部の金属製の水道管が盗難被害に遭い、水が届

たが、その設置場所をめぐって住民が争い出し、通水後にさらに深刻化した。

ケツや石鹼といった衛生物資のセツを提供可能だという。技術面での協力・提案も歓迎しているとする。

こうした支援活動への協力に際しては、現地事務所を構えるなど、根張った活動をしているREALSに、現地住民と

企業がアフリカでビジネスを行う場合、植民地支配の歴史から疑いの目を向けられる傾向があり、その地域での印象が成功の鍵を握るが、支援活動に参加すると、困ったときに真っ先に助けてくれたとの印象を政府関係者に持ってもらえるので、その後のビジネスが円滑に進むやすくなる可能性が高いとの認識を示す。

最後に、瀬谷氏は、上下水道関係者に向けて、

技術面の協力・提案も歓迎

かなくなってしまうことが転換点となり、一度手にした水の恩恵を失ったことで、激しく争っていた住民たちが我に返り、話し合いでトラブルを解決する姿勢につながった。盗難防止目的で金属製の水道管を全て強化プラスチック製の水道管に差し替えた際にも、一部の資金を住民が進んで負担してくれた」と振り返る。

かなくなってしまうことが転換点となり、一度手にした水の恩恵を失ったことで、激しく争っていた住民たちが我に返り、話し合いでトラブルを解決する姿勢につながった。盗難防止目的で金属製の水道管を全て強化プラスチック製の水道管に差し替えた際にも、一部の資金を住民が進んで負担してくれた」と振り返る。



ケニアにおける活動で平和的な水利用を実現 (REALS提供)

すなか、世界各地で支援を継続・加速させるには、資金面の制約が足かせとなっている」と瀬谷氏は課題を話す。もし10万円の資金があるなら、避難民10世帯50人に対し、水汲みバ

「紛争地域では、水と衛生を満足に確保できない劣悪な環境下で暮らしている方が多くいる現状に目を向けてほしい。そして、何らかの形で水と衛生の問題解決に協力してくれたら」と真剣な表情で語ってくれた。なお、REALSの活動や寄付の詳細は、同団体のホームページ (<http://reals.org>) 上に記載されている。 || おわり ||